

鳥取環境大学の改革に向けた取り組みについて

1. 経営改善への取り組み

(1) 歳入増加策

- ・学生数確保のため、きめ細かな高校訪問、高校内説明会、進学相談会など実施
- ・オープンキャンパスの回数増加
- ・私学助成金（特別補助）、科学研究費などの外部資金を積極的に確保

(2) 歳出の削減策

- ・人件費削減 ▲80百万円（21年度比）
 期末・勤勉手当の減額（4.45ヶ月 → 2.8ヶ月）
 理事長、常務理事、学長給与の減額措置の継続
 管理職手当カット率拡大（10% → 25%）
 現給保証の廃止、住宅手当（自宅分）、調整手当の廃止
 退職不補充
- ・その他経費削減 ▲65百万円（21年度比）
 管理経費の削減
 教員個人研究費 等

（単位：百万円）

	22補正予算 (A)	21当初予算 (B)	増減 (A-B)	特記事項
消費収入額	1,053	1,004	49	
（うち学生納付金）	740	797	▲57	学生数の減少
消費支出額	1,511	1,656	▲145	
内人件費	684	764	▲80	期末・勤勉カット等
内教育研究経費	603	637	▲34	個人研究費削減等
（うち奨学費）	127	140	▲13	
内管理経費	214	245	▲31	一般経費削減
収支差額	▲458	▲652	194	

2. 学部・学科の改編

(1) 学部・学科改編等準備委員会の設置（平成22年2月9日）

委員長：東樋口副学長 委員数 8名（学内教員7名、常務理事）

外部アドバイザー：神戸大学経営学部 加登 豊 教授

京都大学 堀 智孝 名誉教授

4月28日までに5回開催、中間報告案をまとめた

3. 大学運営の改革

(1) 大学運営改革委員会の設置（平成22年2月25日）

委員長：古澤学長 委員数7名（学長、副学長2名、常務理事、職員3名）

検討項目：授業改善、学生のアメニティ、就職支援体制の充実、職員の資質向上

評価制度、諸会議の見直等職員若手の検討チームを立ち上げ8月末結果報告予定

5月17日までに6回開催